

安楽寺だより 第42号

〒105-0014 東京都港区芝1丁目12-18 電話: 03-3451-1509 住職携帯: 090-7284-0378

発行者: 藤澤 克己(安楽寺住職) ホームページ: <http://www.anraku-ji.org/>

(安楽寺だよりは1月・4月・7月・10月に発行します)

冷静に行動し無事に過ごしましょう

みなさま、いかがお過ごしでしょうか？
新型コロナウイルスの感染拡大がますます広がっています。罹患^{りかん}された方、ご家族、医療従事者の方、そして影響を受けているすべての方に心からお見舞い申し上げます。

安倍首相が全国の小中学校・高校の一斉休校を宣言した時、何もそこまで大げさにしなくて良いのにと受け止め、事の深刻さを理解していませんでした。春休み前までどころか、いまだに終息する見通しが見えてこないのですから本当に心配です。

不安をあおってはいけませんが、決して看^{かん}過できない状況だと思います。これまで以上に小まめな手洗いを心掛け、マスクをつけ、人との接触を避け、**感染させない・感染しない**ために最善を尽くしましょう。自分と身近にいる大切な人を守るために、冷静に行動し、無事に過ごしましょう。



こんな時だからこそ、外に目を向けてみませんか。春爛漫^{らんまん}となり、これからは新緑の美しい季節です。時として荒々しい姿を見せる自然界ですが、四季の移り変わりはゆっくりとしながら着実に、頼もしくさえ思えます。

天気の良い日には、人と接触しないよう気を付けて散歩するなど、陽の光を浴び、外気に触れ、心身ともにリフレッシュして、ウイルスに負けないよう頑張りましょう！

《あれこれ抄》

▼春の「安楽寺だより」をお届けします▼マスクが手に入らず再利用して使う人が多いのではないのでしょうか▽半分は切ったキッチンペーパーを二つ折りにしたもの、マスクの内側に挟^{はさ}んで使うと、マスクが劣化しにくくなるのでお勧めです▼東京オリンピック・パラリンピックが約一年延期となりました▽国際パラリンピック委員会では「勇気」を「マイナスの感情に向き合い、乗り越えよう」と思う精神力」と定義されています▽今の私たちに求められている資質だと思いましたが▼この際、これまで読めなかった本を読み漁^{あさ}りたいと思います▼あと部屋の片づけもしなければ！▼おかげさまで前住職は九十歳、住職は五十九歳の誕生日を無事に迎えることができました

春彼岸にようこそお参りくださいました



春のお彼岸の頃、新型コロナウイルスの影響で外出を控えたいと連絡をくださる方も何人かいらっしゃいましたが、それでも多くの方がお墓参りにお出掛けくださいました。

この時期、安楽寺の墓地にはたくさんのお花が供えられ綺麗になります。お墓参りを終えられ、「これでスッキリしました」と仰って帰られた方が印象的でした。



祝前住職卒寿

前住職は2月5日に無事90歳の誕生日を迎えることができ、ささやかな祝いの席を設けました。おかげさまでますます元気です！



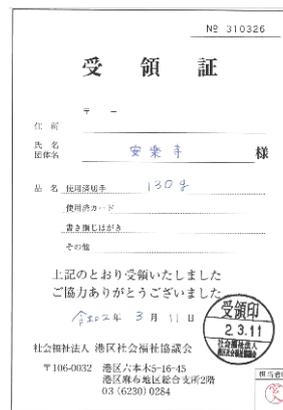
お盆のお参りについて

東京近郊のお盆参りは7月15日を中心に行われます。その頃にならないと分かりませんが、新型コロナウイルスの感染状況が終息しているという前提で、新盆（初めて迎えるお盆）のご家庭を中心に日程を調整して住職がお参りさせていただきます。

温かいご支援をありがとうございます

寺の玄関に入って右手に「使用済み切手」の箱を置いています。みなさんが少しずつ持ち寄ってくださり、沢山集まりました。

先日、港区社会福祉協議会に持参しました。地域ボランティア推進事業のために使われるそうです。



住職コラム

この時代この社会を共に生きる仲間として

毎日のように新型コロナウイルス関連のニュースが報道され、落ち着かない気分でも過ごしていると思います。感染への不安を感じたり先行きが見えなかったりするからですが、実は私たち全員が「喪失感」を抱えていることも大きく影響しているのではないのでしょうか。

いま私たちは、大きく2つの喪失経験をしています。まず「これまでの日常」をなくしました。自由に歩み、友だちと会い、大きな声でお喋りするといった普通の生活ができなくなりました。

また「これからの楽しみ」も失いました。ありとあらゆるイベントが中止になるし、

晴れやかな気持ちで行われるはずだった卒業・入学・入社・結婚式といったライフイベントを含め、あらゆる計画が予定通りでなくなってしまったからです。

誰もがこうした喪失感を抱えているのですから、気持ちが沈み落ち着かなくなってしまうのは無理ありません。

私たちはこの時代この社会を共に生きる仲間です。今こそ、お互いの喪失感を認め合っていきましょう。

そうすることで、いたわり、ねぎらい、支え合いの気持ち生まれ、少しずつ回復の道を歩んでいくことができるようになるのではと思っています。

《季節の思い出》



蠟梅(ロウバイ)が
陽の光を浴びて
(1月下旬)

春を待つ梅のつぼみ
(2月上旬)



少しずつ暖くなり
一気に開花しました
(2月中旬)



季節外れの雪が降り
本堂屋根が少し白く
(3月29日)

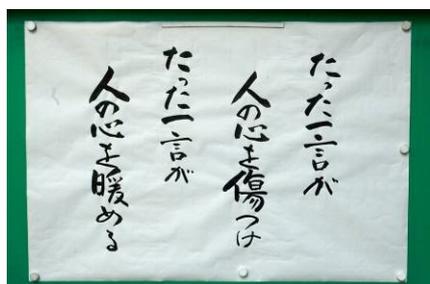
花壇のチューリップ
が咲きそろいました
(4月上旬)



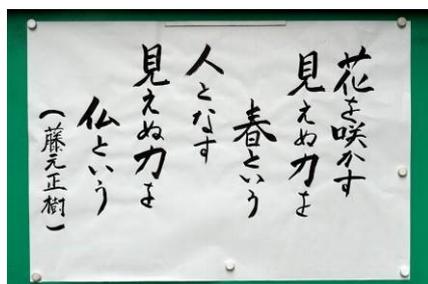
はなまつり@築地本願寺
(お釈迦さまのお誕生祝い)
(4月8日)

月々の言葉 ～安楽寺 伝道掲示板から～

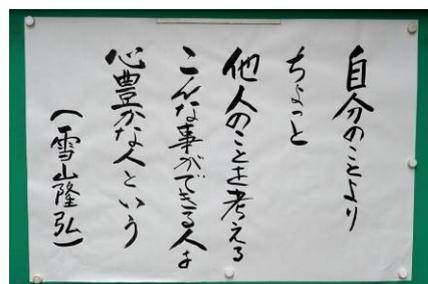
お寺の入り口に、その時々々の伝道の言葉を掲げています。(1か月毎)



2020年2月



2020年3月



2020年4月

令和2年の永代経法要について

阿弥陀さまの教え(お念仏)は数多くの先祖の方々によって今の私たちに届けられました。その方々を縁として永代にわたって阿弥陀さまのお経が読まれますようにと願ってお勤めするのが「永代経法要」です。

安楽寺では毎年5月10日に永代経法要をお勤めしています。多くの門信徒のみなさまにご参詣いただき、また芝組の僧侶数名にご出仕いただき、ご講師の先生をお招きし賑々しく開催してきました。

しかし、今年に限っては新型コロナウイルスの影響で残念ながら例年通りに行うことができません。今年の安楽寺永代経法要は 寺の者だけでお勤めすることにいたします。いつものようにお飾りし、尊前にてご先祖への報恩謝徳の気持ちを奉告し、しっかりお勤めいたしますので、どうぞご安心ください。



本堂の漏電点検をしました

昨年秋に首里城が火災で焼失した事件は記憶に新しいと思います。結局、原因は特定できなかつたようですが、当初電気系統設備が出火原因と疑われました。

安楽寺本堂についても心配になり、関東電気保安協会に点検してもらったところ、異常なしとの結果報告で安心しました。



本堂裏分電盤の漏洩電流を測定する様子

「定例法話会」の今後の予定 (しばらくお休みします)

※毎月第3日曜日開催している定例法話会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が発出されたため、しばらくの間、休止することとします。